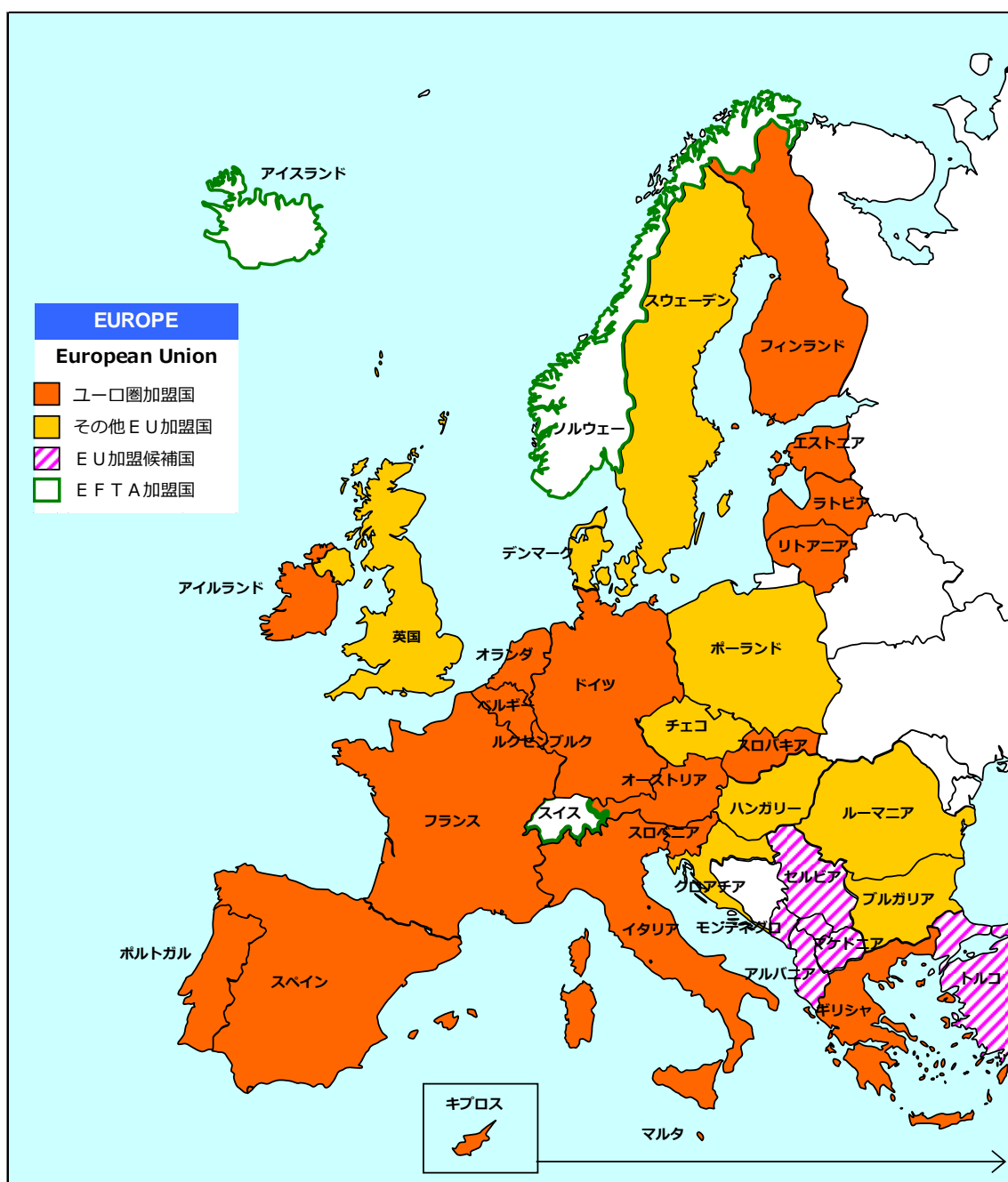


2016年12月22日 全13頁

欧州経済アップデート (2016.12)

経済調査部
主席研究員 山崎 加津子

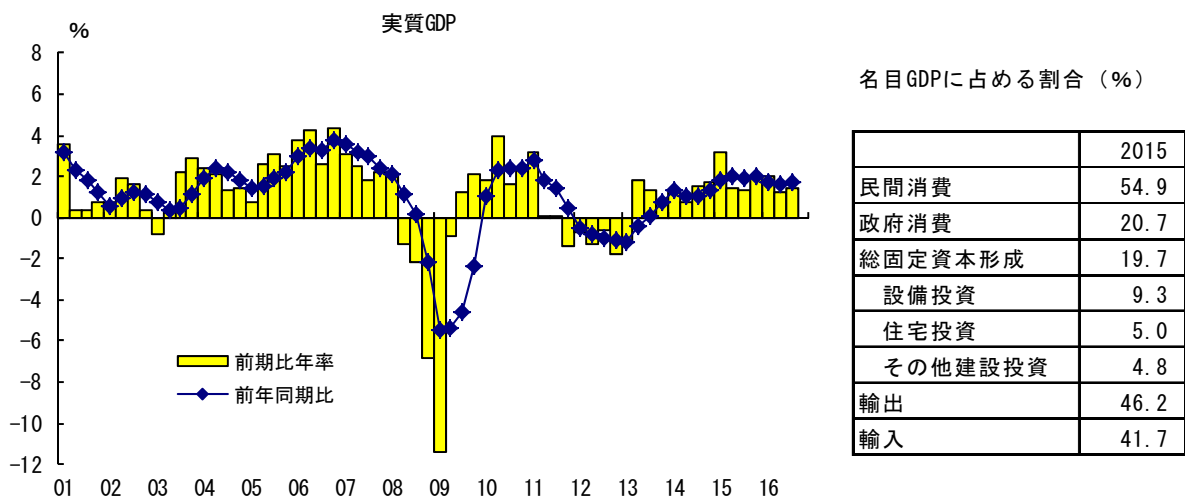


出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

図表作成：リサーチ業務部データバンク課

ユーロ圏 GDP

- 16年Q3のユーロ圏経済は前期比+0.3%成長で、プラス成長は14四半期連続に
- 16年Q3も牽引役は個人消費を中心とした内需である
- 一方、純輸出寄与度は小幅ながら3四半期ぶりに前期比マイナスに転じた



ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3
実質GDP	0.3	0.2	0.4	0.4	0.8	0.4	0.3	0.5	0.5	0.3	0.3
個人消費	0.0	0.3	0.4	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4	0.7	0.2	0.3
政府消費	-0.1	0.2	0.3	0.2	0.4	0.4	0.4	0.6	0.6	0.4	0.5
総固定資本形成	0.6	-0.6	0.5	0.5	1.8	0.0	0.7	1.3	0.4	1.2	0.2
設備投資	0.7	0.3	1.1	0.9	2.0	0.5	1.2	1.3	-0.3	2.7	-0.4
住宅投資	1.3	-1.5	0.0	0.1	1.1	0.4	0.5	1.2	0.9	0.5	1.0
その他建設投資	-0.2	-1.4	-0.3	-0.2	1.9	-1.3	-0.1	1.5	1.1	-1.4	0.5
輸出	0.9	1.1	1.7	1.5	2.7	1.1	0.3	0.8	0.2	1.2	0.1
輸入	1.2	1.3	1.5	1.5	2.4	0.8	1.1	1.5	-0.1	1.2	0.2

ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

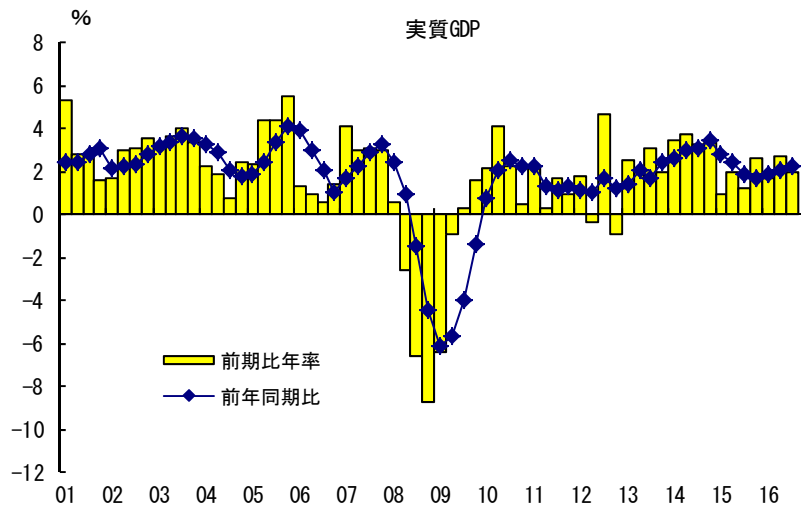
	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3
実質GDP	0.31	0.18	0.37	0.44	0.79	0.36	0.33	0.51	0.50	0.31	0.35
個人消費	-0.01	0.16	0.19	0.31	0.25	0.25	0.23	0.22	0.36	0.13	0.17
政府消費	-0.02	0.04	0.07	0.04	0.07	0.08	0.09	0.13	0.12	0.08	0.10
総固定資本形成	0.12	-0.11	0.09	0.09	0.35	0.01	0.14	0.26	0.07	0.23	0.03
設備投資	0.07	0.03	0.11	0.09	0.20	0.05	0.12	0.13	-0.03	0.28	-0.04
住宅投資	0.07	-0.08	0.00	0.01	0.06	0.02	0.02	0.06	0.05	0.03	0.05
その他建設投資	-0.01	-0.07	-0.02	-0.01	0.09	-0.06	0.00	0.07	0.05	-0.07	0.02
在庫変動	0.30	0.15	-0.13	-0.06	-0.11	-0.18	0.21	0.19	-0.20	-0.18	0.11
輸出	0.39	0.46	0.76	0.68	1.22	0.53	0.13	0.37	0.09	0.55	0.03
輸入	-0.47	-0.51	-0.62	-0.61	-0.99	-0.33	-0.48	-0.66	0.05	-0.51	-0.10
純輸出	-0.08	-0.05	0.14	0.07	0.24	0.20	-0.35	-0.28	0.14	0.04	-0.07

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

* このレポートに掲載しているユーロ圏データに関するおことわり
 ユーロ圏とは、EU加盟国のうち単一通貨ユーロを導入し、金融政策を欧州中央銀行（ECB）に委ねている国々のこと。15年1月にリトアニアが19番目の加盟国となった。このレポートに掲載されているユーロ圏のデータは、14年以前のデータもすべて19カ国ベースである（Eurostatが19カ国ベースの遡及データを公表）。

英国 GDP

- 16年Q3の成長率は前期比+0.5%で、プラス成長は15四半期連続に
- 前期に引き続き16年Q3も個人消費と固定資本形成が景気の牽引役である
- 16年Q3の純輸出寄与度は3四半期ぶりに前期比プラスに転じた。輸出拡大に加えて、輸入の減少が貢献している



名目GDPに占める割合（％）

	2015
民間消費	65.0
政府消費	19.4
総固定資本形成	16.9
政府部門	2.7
企業部門	9.6
民間住宅投資	3.3
輸出	27.4
輸入	29.1

英国の需要項目別GDP成長率（前期比：％）

	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3
実質GDP	0.8	0.9	0.8	0.8	0.3	0.5	0.3	0.7	0.4	0.7	0.5
個人消費	0.2	0.5	1.3	-0.2	0.8	0.7	0.9	0.4	0.7	0.9	0.6
政府消費	1.5	0.2	0.2	-0.2	0.4	1.0	0.6	0.0	0.4	0.0	0.4
総固定資本形成	2.8	-1.6	1.4	0.7	1.7	0.9	0.9	-1.3	-0.1	1.6	1.1
政府部門	16.1	-20.5	9.1	-0.6	2.7	-3.4	1.8	-3.3	-1.1	7.6	4.0
企業部門	-3.4	6.0	-1.3	1.9	2.6	-0.2	1.7	-2.4	-1.1	1.0	0.9
民間住宅投資	10.9	-8.1	4.6	-0.9	1.6	4.9	-2.7	1.7	1.1	0.8	0.7
輸出	2.6	-0.3	-1.3	4.0	2.2	-1.1	-0.3	4.3	0.1	-1.0	0.7
輸入	-0.1	-1.3	1.1	2.8	3.4	-1.7	0.5	2.6	0.2	1.3	-1.5

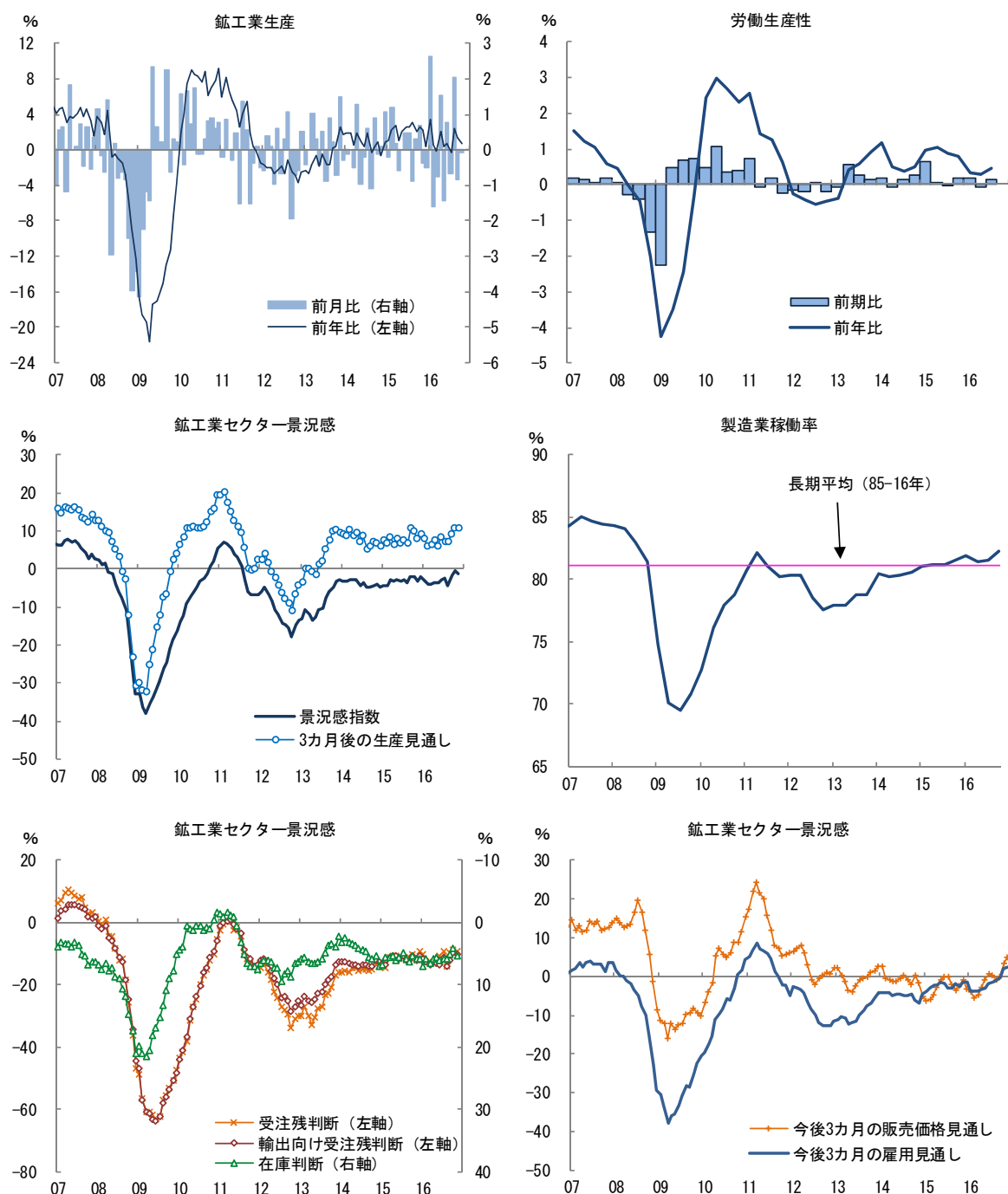
英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：％）

	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3
実質GDP	0.85	0.93	0.81	0.83	0.25	0.50	0.30	0.66	0.42	0.67	0.49
個人消費	0.16	0.31	0.84	-0.10	0.52	0.43	0.56	0.28	0.46	0.59	0.39
政府消費	0.30	0.04	0.05	-0.05	0.09	0.21	0.12	0.00	0.09	0.00	0.08
総固定資本形成	0.46	-0.27	0.24	0.11	0.29	0.15	0.15	-0.22	-0.02	0.26	0.19
政府部門	0.44	-0.64	0.22	-0.02	0.07	-0.09	0.05	-0.09	-0.03	0.19	0.11
企業部門	-0.32	0.55	-0.12	0.18	0.25	-0.02	0.16	-0.23	-0.10	0.09	0.09
民間住宅投資	0.34	-0.28	0.15	-0.03	0.05	0.16	-0.09	0.06	0.04	0.03	0.02
在庫変動	-0.68	0.52	0.43	0.61	-0.26	-0.52	-0.25	0.15	-0.40	0.61	-0.92
輸出	0.75	-0.10	-0.39	1.13	0.65	-0.34	-0.09	1.28	0.04	-0.32	0.22
輸入	0.04	0.42	-0.36	-0.88	-1.10	0.58	-0.18	-0.85	-0.06	-0.43	0.49
純輸出	0.79	0.32	-0.75	0.26	-0.44	0.23	-0.26	0.43	-0.03	-0.75	0.71

出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 生産

- 10月の鉱工業生産は前月比 -0.1% と2カ月連続で落ち込み、前年比の伸び率も $+0.6\%$ に減速した。資本財の生産は拡大に転じたが、中間財と消費財は生産縮小が継続
- 11月の鉱工業セクター景況感は2011年7月以来の高水準をつけた10月から小幅悪化。ただし、構成項目のうち生産見通しは3カ月連続で改善している
- 11月の鉱工業セクターの雇用見通しは2011年7月以来、販売価格見通しは2012年4月以来の高水準

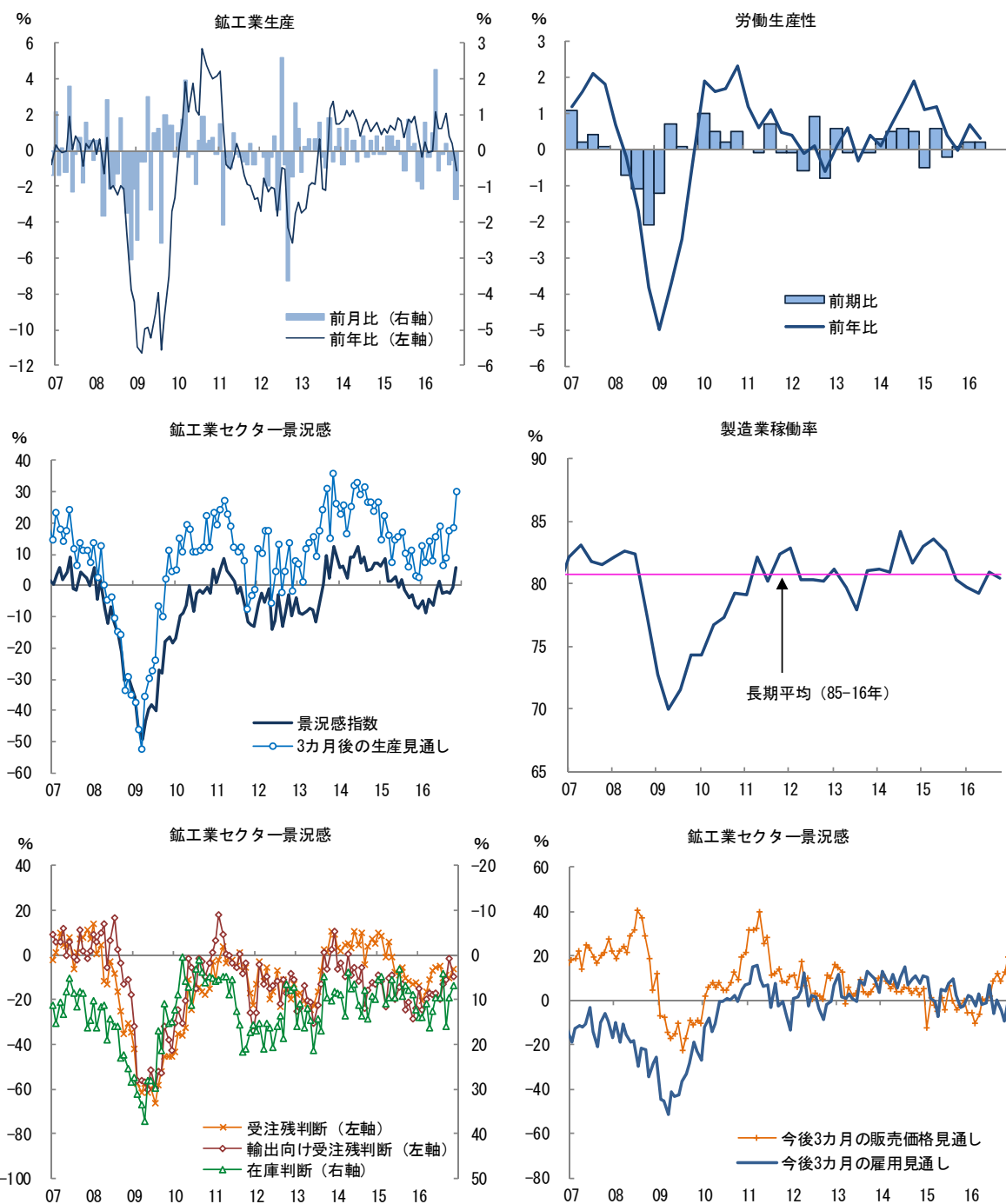


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

英国 生産

- 10月の鉱工業生産は前月比-1.3%、前年比-1.2%と大きく落ち込んだ
- 11月の鉱工業セクター景況感は前月比で大幅改善し、21カ月ぶりの高水準。構成項目である受注残判断、在庫判断、生産見通しがそろって改善した
- 11月の鉱工業セクターの販売価格見通しは2011年6月以来の高水準

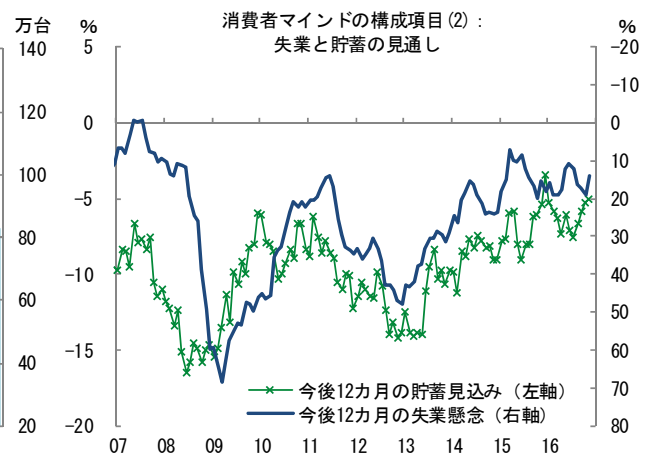
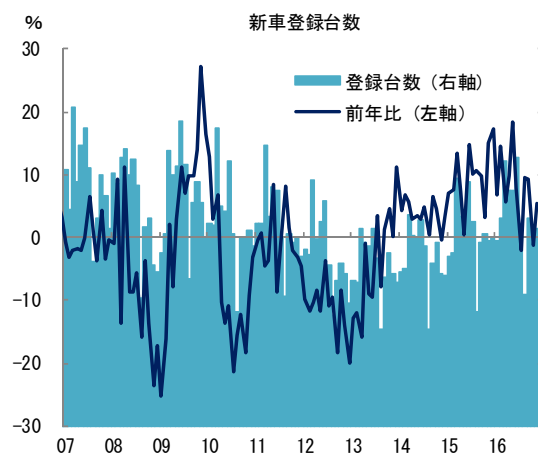
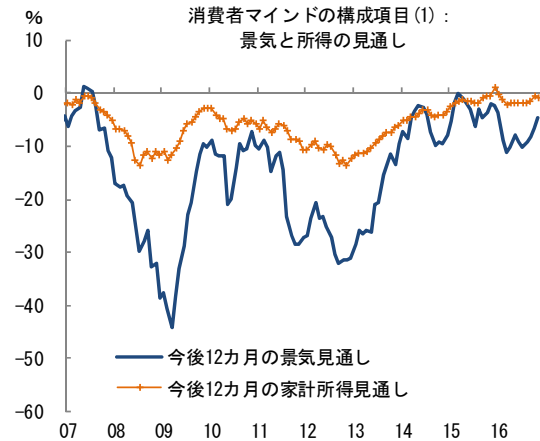
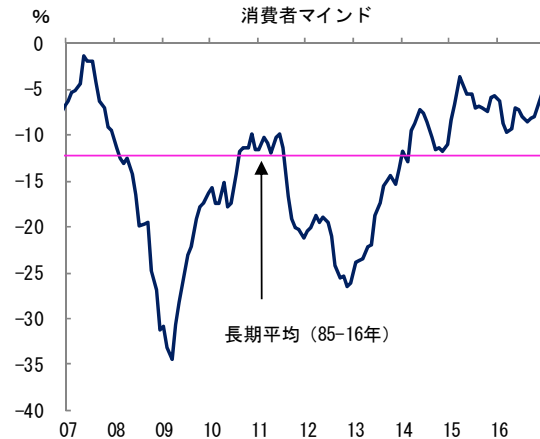
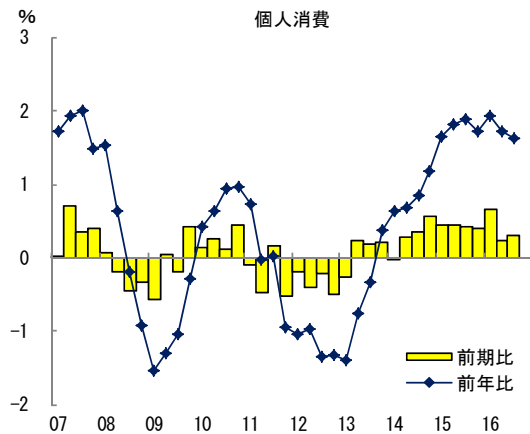


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 消費

- 10月の小売売上高は前年比+2.4%に加速。食品と燃料を除く売上の伸びが目立つ
- 新車登録台数は10月の前年比-1.2%から11月は同+5.3%と拡大に転じた
- 12月の消費者マインド（速報値）は-5.1%に改善し、15年4月以来の高水準

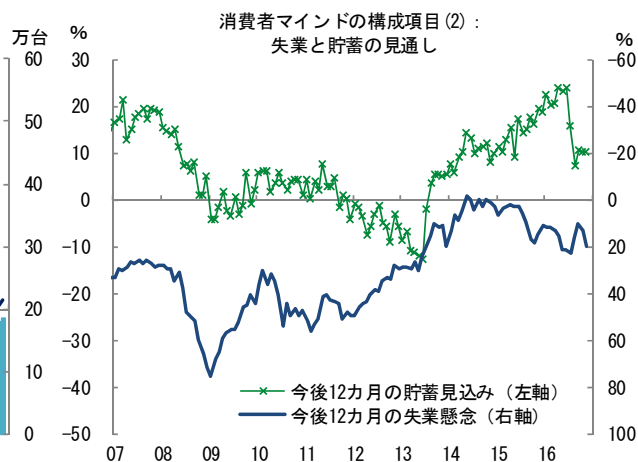
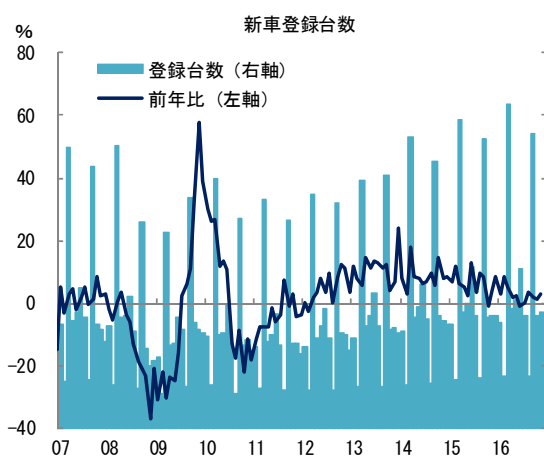
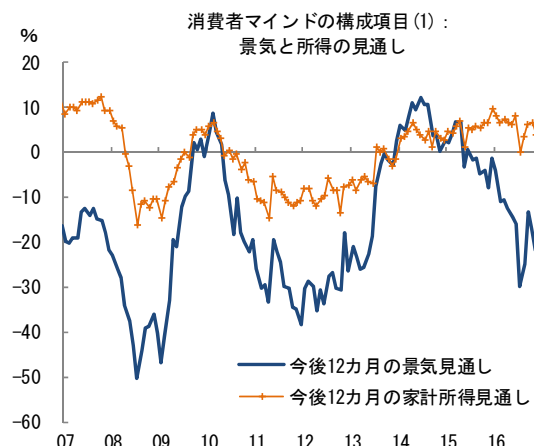
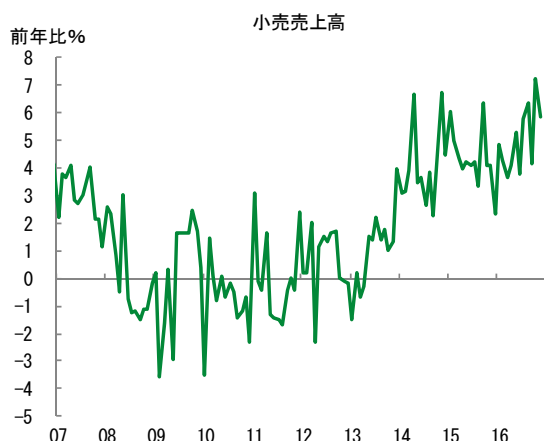
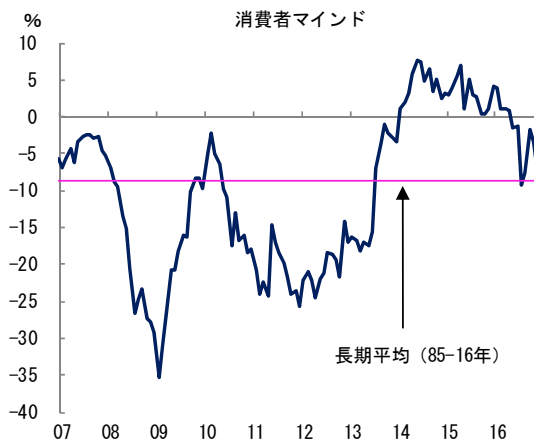


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

英国 消費

- 11月の小売売上高は10月の前年比+7.2%からは減速したが、同+5.9%と高い伸び
- 11月の新車登録台数は前年比+2.9%となり、小幅ながら5カ月連続でプラスの伸び
- 一方、11月の消費者マインドは-6.9%と2カ月連続で悪化。景気見通しが悪化して失業に対する懸念が高まっていることに加え、家計所得見通しも小幅に悪化

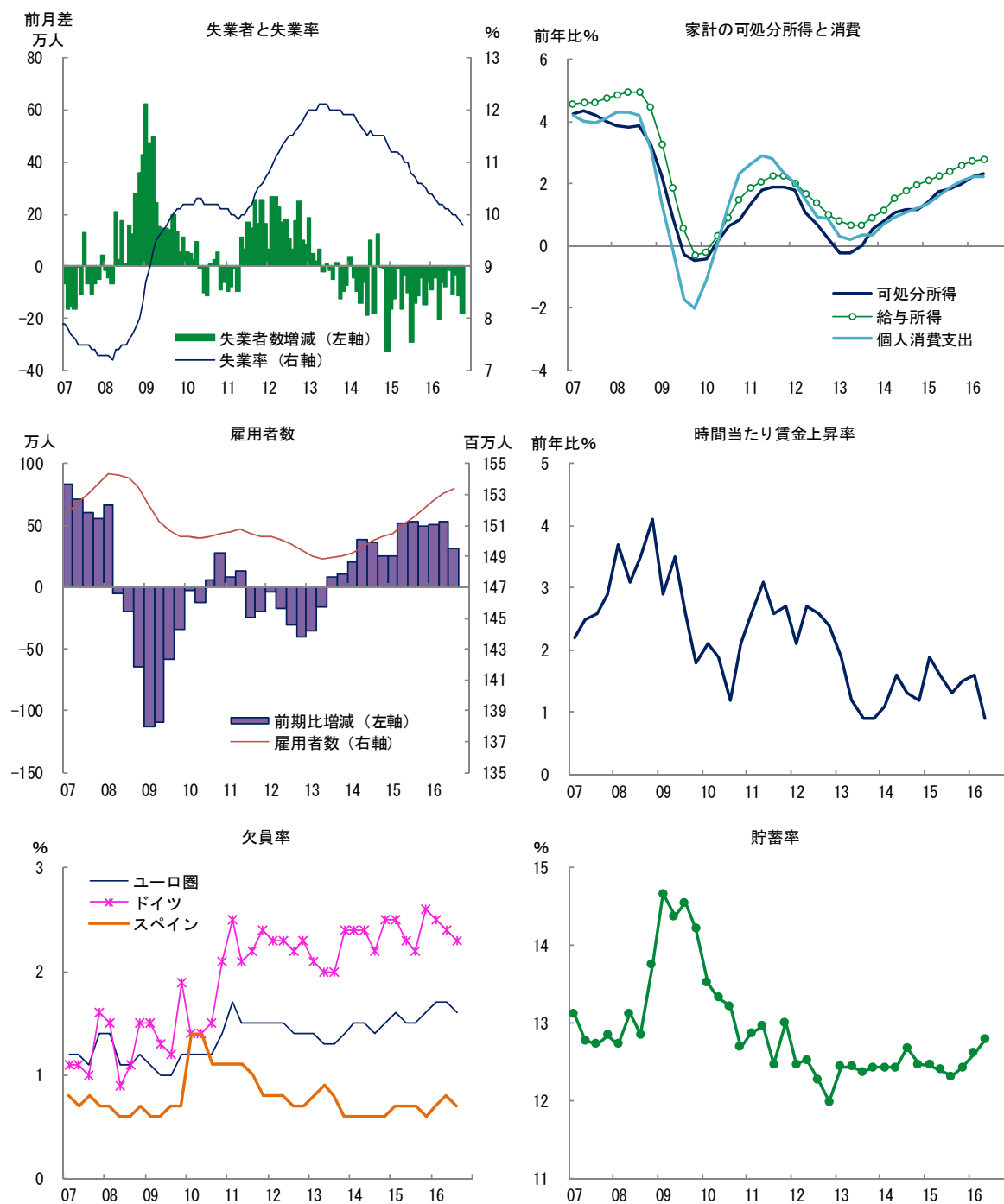


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

ユーロ圏 雇用・所得

- 10月の失業率は9.8%と09年7月以来の水準に低下した
- 16年Q3の雇用者数は08年Q4以来となる1億5,345万人に拡大。ただし、前期比の増加ペースは31.7万人増と6四半期ぶりの低水準である
- 16年Q3のユーロ圏の欠員率は年前半と比較して小幅に低下

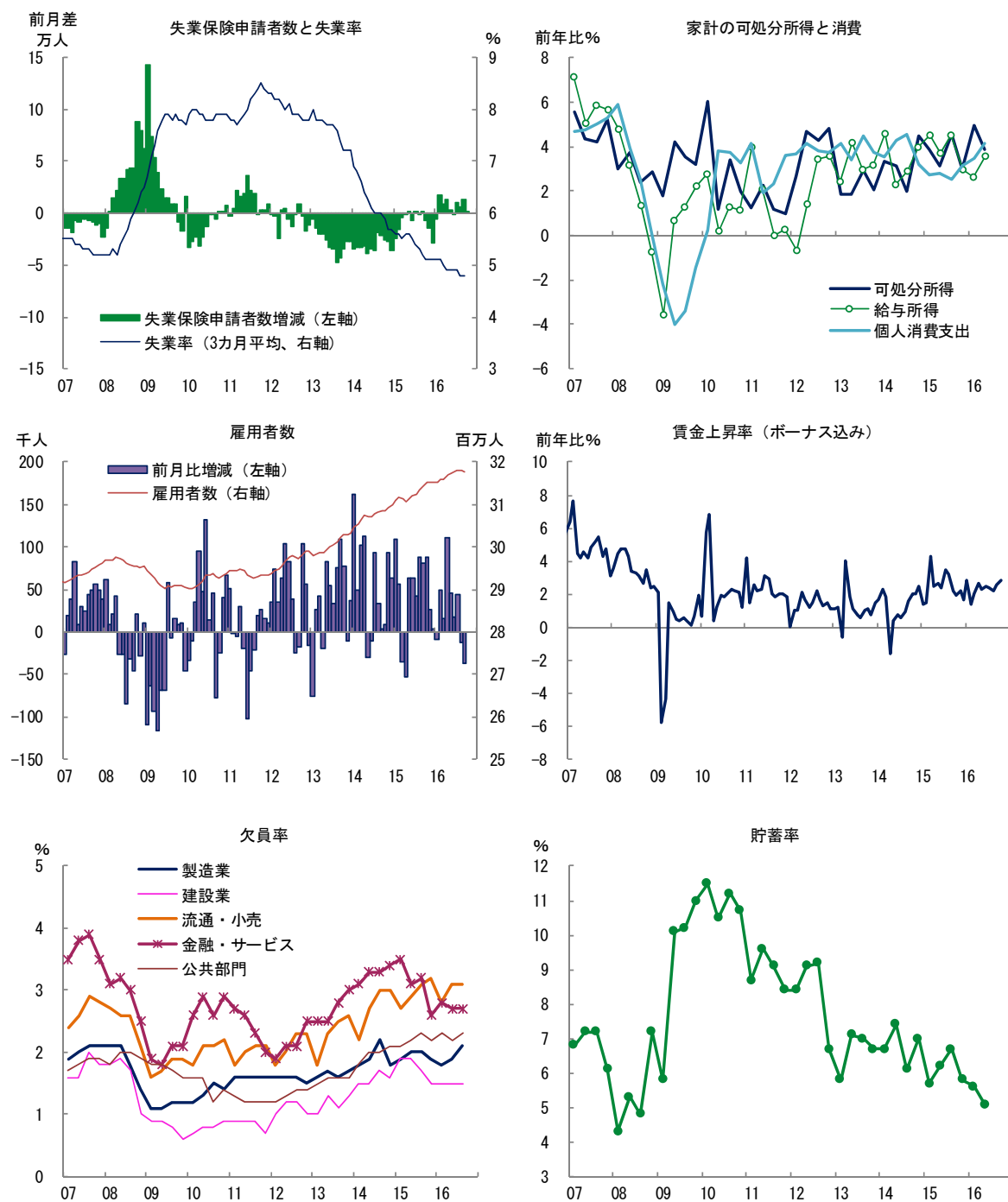


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) * 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成

英国 雇用・所得

- 8-10月平均の失業率は4.8%と11年ぶりの低水準
- ただし、失業保険申請者数は11月までの直近9カ月のうち8カ月で増加している
- 10月の賃金上昇率は前年比+2.8%と2カ月連続で加速したが、3カ月平均ではほぼ横ばい

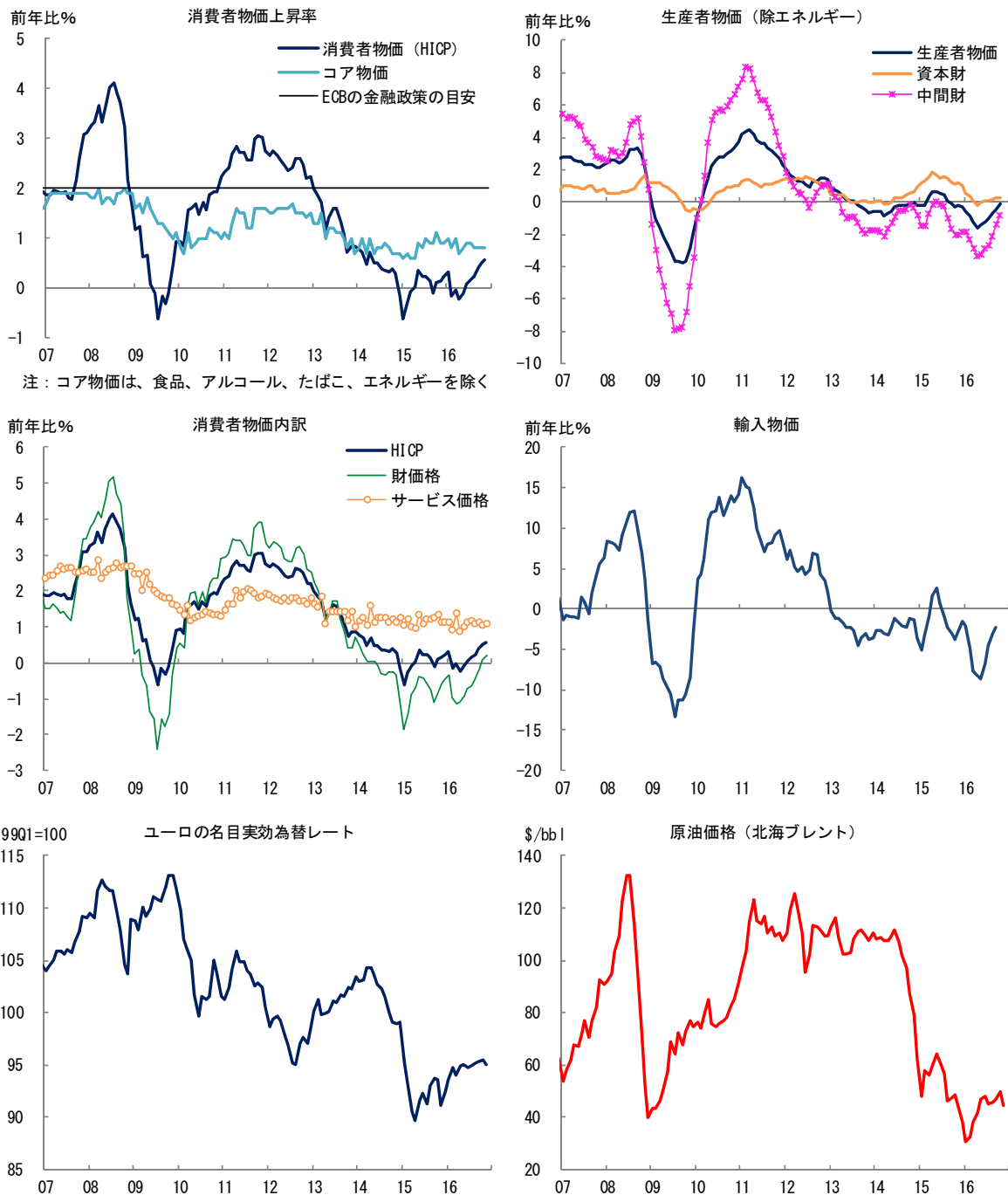


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = $\text{Number of job vacancies} / (\text{Number of occupied posts} + \text{Number of job vacancies}) \times 100$

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 物価

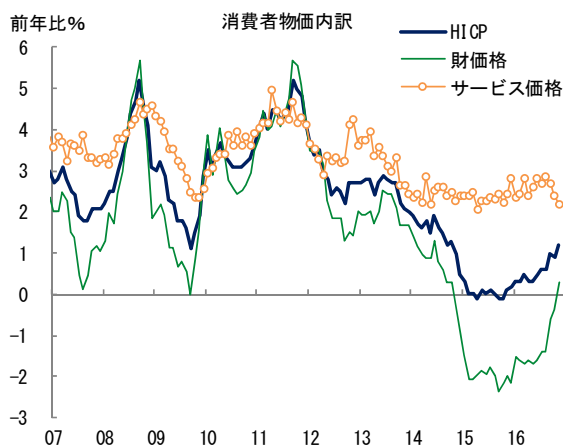
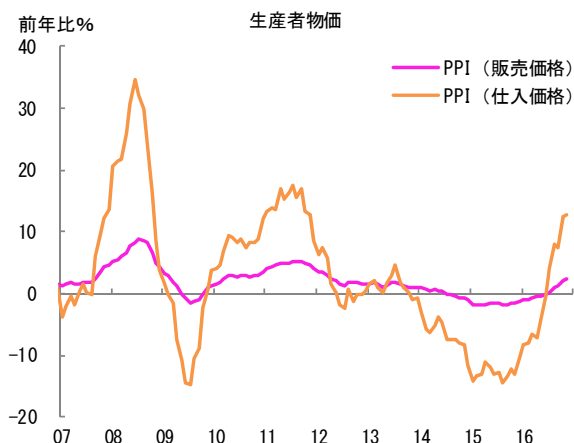
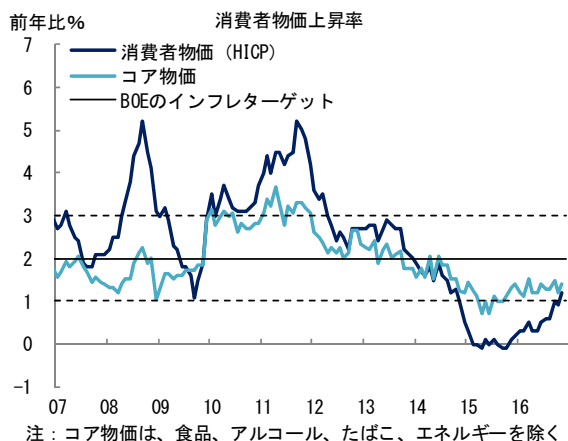
- 11月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+0.6%と31カ月ぶりの水準に加速した。原油安に伴う物価押し下げ効果が剥落し、財価格が前年比プラスに転じている
- ただし、11月のコア物価は4カ月連続で前年比+0.8%と変化がない。サービス価格が加速してこないことが背景にある
- 11月の原油価格（北海ブレント）は1バレルあたり44.7ドルと小幅に反落した



出所：Eurostat、ECB、Haver Analytics データより大和総研作成

英国 物価

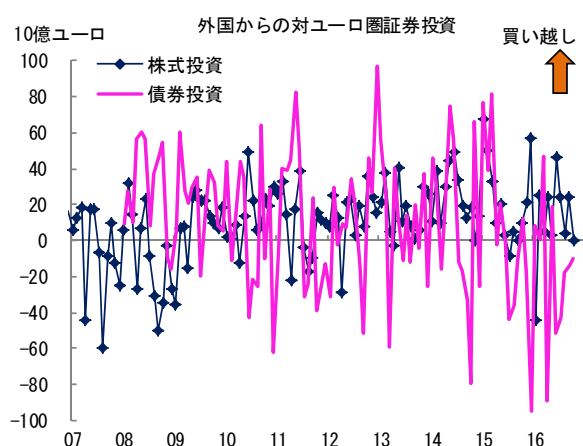
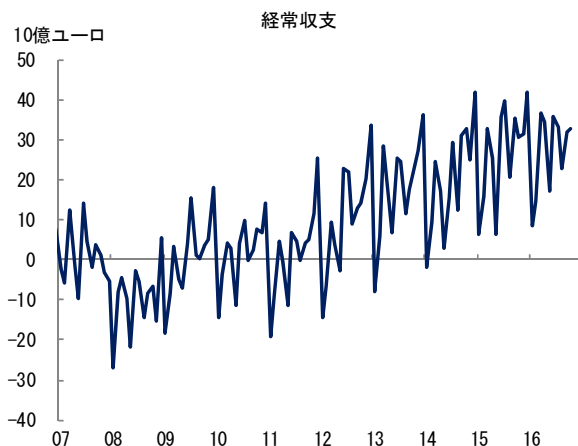
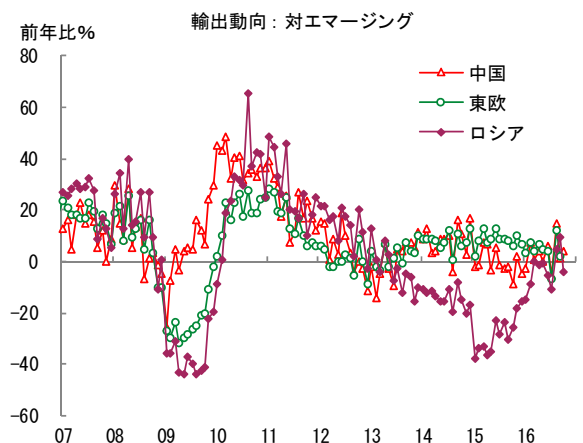
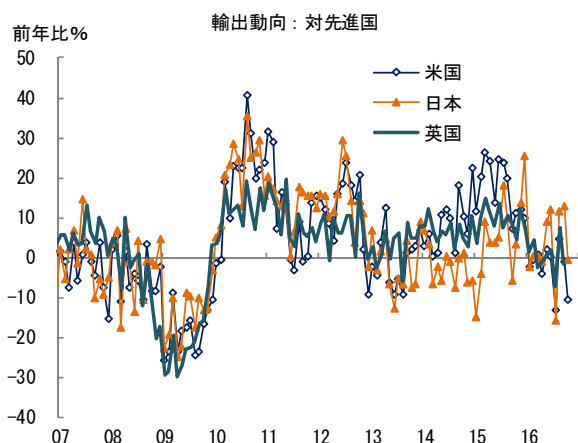
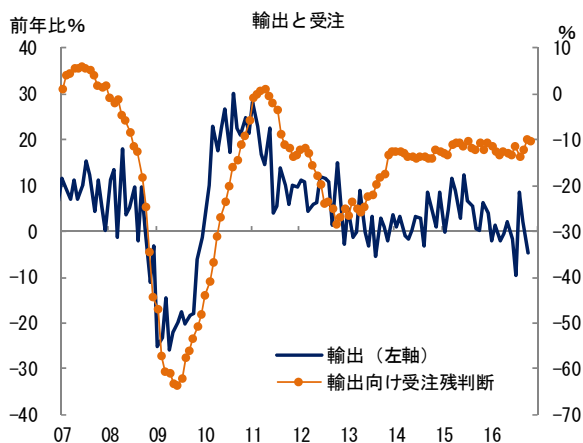
- 11月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+1.2%と25カ月ぶりの水準に加速。原油価格上昇を背景に財価格が上昇に転じた
- ポンド安による輸入物価上昇を受けて、生産者物価も上昇傾向を強めている。11月の仕入価格は前年比+12.9%、販売価格は同+2.3%に加速した
- 11月のポンドの実効為替レートは小幅に反発



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 国際収支

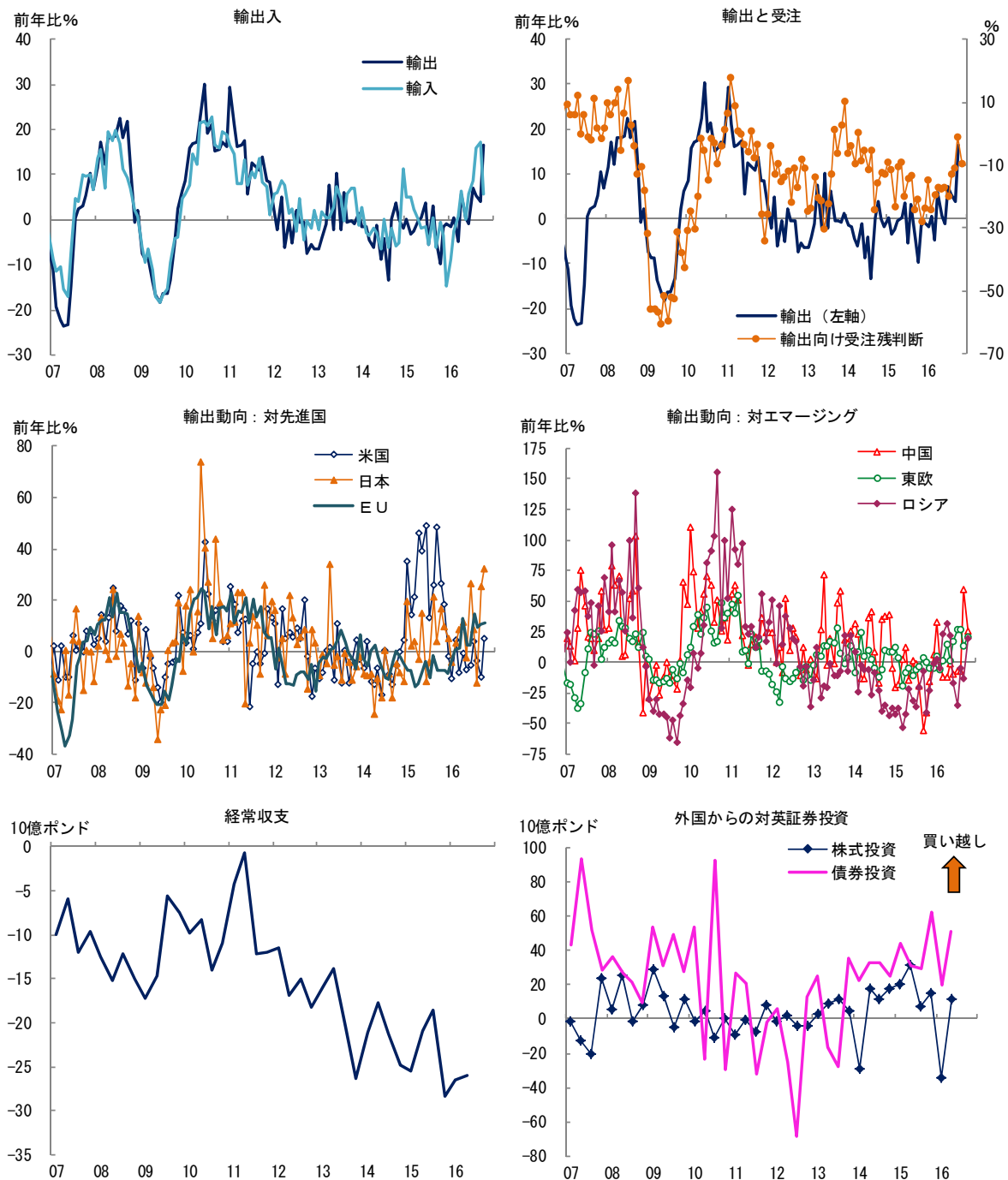
- 10月の輸出は前年比-4.6%、輸入は同-3.3%とそろって落ち込んだ
- 10月の相手先別輸出は米国向けが前年比-10.5%と急減したほか、ロシア向けも同-4.2%と3カ月ぶりに落ち込んだ。一方、中国向けは同+4.1%と3カ月連続で拡大
- 10月の外国人投資家による対ユーロ圏証券投資は、株式投資の買い越し額と、債券投資の売り越し額がそれぞれ縮小した



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

英国 国際収支

- 10月の輸出は前年比+16.5%と急拡大。一方、輸入も同+5.6%と拡大した
- 10月の輸出を相手先別に見ると、シェア47%のEU向けが前年比+11.1%と高い伸びを維持し、シェア19%の米国向けは同+5.0%と拡大に転じた
- また、10月のエマージング諸国向けの輸出は、中国、東欧、ロシア向けがそろって前年比二桁の高い伸びを記録した



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成